

はじめに

本日は多数ご参加いただき感謝いたします。今日の会場は科学技術振興事業団が今年の7月にオープンしたばかりのびかぴかで、このような快適なシンポジウムを開くことができ幸運でした。オープンしたばかりで運営に不慣れなため多少の混乱があるかもしれませんがよろしくご了承ください。

さて、地球温暖化の防止は世界人類共通の課題として検討されているところです。1997年に京都で開催された COP3（気候変動枠組み条約 第3回締約国会議）では、我が国も2008年から5年のうちに温室効果ガスの排出を1990年基準で6%削減することを世界に約束しています。1999年には1990年より二酸化炭素の排出量が増加しているため、1999年を基準に考えると13%以上の削減を必要とします。これは容易なことではありません。

戦略的基礎研究における「資源循環・エネルギーミニマム型システム技術」領域での研究の成果が、地球温暖化の防止に貢献し、人類の持続的発展を可能とする社会の構築に向けて1歩を踏み出すことを期待しています。当領域は平成10年度に発足し、平成12年度までに16の課題を採択しました。それぞれの課題について研究チームを編成し研究を進めています。

本日は、平成10年度採択の5課題の研究代表者及び各課題1名の共同研究者と二人1組で合わせて10名が研究成果の中間報告を行います。併行して、平成10年度および11年度採択の合計10課題の研究代表者と共同研究者によるポスター発表を行い、直接ディスカッションを深めて頂きます。両会場で皆様からの忌憚のないご意見をいただければと思います。

今日一日皆様の新鮮な討論を期待しています。

平成13年9月

「資源循環・エネルギーミニマム型システム技術」 研究統括 平田 賢